

美山町は雪解けの後、急に暖かくなりました。春のお花がいっせいに開花し（写真①はアースガーデン入口）、庭のエゴノキに取り付けた鳥の巣箱のまわりでは、ヤマガラが婚活の真最中。私にとっては菜園作業が開始する忙しい季節でもあります。きちんと植え付け計画をたて実行すれば、夏野菜の自給率は量的には100%以上。

（昨年のキウリなんか自給率約300%！食べても食べてもキウリが追いかけてきました…）一方でキャベツなどのアブラナ科は春～夏は作らないし、場所がなくてジャガイモや、サツマイモ、サトイモもめったに作らないので、品目での自給率は多分85~90%位でしょう。敷地650㎡の内で建物や駐車スペースを除いた約450㎡が植物たちの場所で、そこから景観樹やお花のスペースを除いた残りの約350~400㎡が食料生産スペースです。そこで野菜、果樹、食用山野草、キノコ、ハーブが育てられています。



写真①

畑や菜園をしている人は一般に雑草を好まないようですが、私は雑草大好き人間。雪解け後に雑草がたくさん元気よく育ち、分厚い「緑のカーペット」になったら心底満足して刈り取ります。植え床の土にヌカをふり、堆肥を置いて、刈り取った雑草で草マルチ（マルチ＝地面を覆う被覆物）をします（米ぬか以外の肥料も使うことがあります）。この状態でしばらく寝かせてから、タネを播いたり、苗を植えたりします。これは小さな菜園に適した方法だと思っています。殆ど不耕起（＝耕さない）なので楽です。ただし場合によっては耕すこともあります。

さて今日は肥料や堆肥についてのお話をもう少しします。美山町の精米機よりの米ぬかが無料でたくさん入手でき、とても重宝します。加えて隣の京北町より産直購入しているアイガモ玄米を、うちで5分つきにした時に出る少量の米ぬかも使います。堆肥は我が家の生ゴミ堆肥とミミズコンポストですが、不足分は地元で作られた「美山の堆肥」を購入しています。美山町の牛糞、鶏糞、籾殻、米糠、落ち葉を発酵させたものです。またゴマを一番絞った山田製油さんの油カスや、近所の養鶏場からの抗生物質原則不使用とされている鶏糞や、和知町の牛糞堆肥を使うこともあります。追肥は主に我が家のバイオガス液肥です。このように書くと、野菜作りに必要な肥料や堆肥は自給、または地域や近郊で調達している形ですが、実際はそうではありません。鶏糞や牛糞のもとになっている飼料は大部分輸入飼料ですし、油かすの材料の胡麻も国産は一部で、多くは海外からの輸入物です。また花壇で使う有機肥料はホームセンターで購入したので、由来がはっきりわかりません。今それらが本当に必要なのかを考えています。ガーデンの雑草、自家製生ゴミ堆肥とミミズコンポスト、美山町のお米と産直米からの米ぬかだけでできないか、とも考えています。併せて肥料の使用量もできるだけ抑えたいです。その方が小ぶりでも美味しく、日持ちの良い野菜になるからです。



写真②

さて、我が家では初夏から冬の到来まで、食べきれないほどの野菜、果物が収穫できるので、余剰物を京都市

内の1軒のカフェで使っていただいています。美山町在住の糀谷さんという方がされている”Cha-i-Ro”という小さなカフェです。(写真②) 4月～12月のシーズン中は1週間～10日に一度、糀谷さんがアースガーデンに季節の余剰野菜やお花を取りに来られるので、とてもうれしく思っています。うちの野菜たちはいねいに料理してもらって、ご自身の天日干し無農薬玄米とともに旬野菜のランチ(800円)として提供されます(写真③)。お店の場所をお伝えしておきます。地下鉄烏丸線鞍馬口駅で下車し、烏丸鞍馬口交差点より鞍馬口通りを東に5～6分歩いた所(=鴨川に出る少し手前)の右側の緑色のお店です。月火木金の週4日営業(祝日は休業)です。一度いらっしやいませんか? 今時めずらしいインターネットにも電話帳にも出ていないお店なので、糀谷さん(090-8093-3851)まで予約されると良いでしょう。

(このお店は少なくとも3年間は続ける心構えでスタートされました。この6月で3年になりますが、その後も続けてくださるといいな、と思っています。)



写真③

ではまたお便りします。

2015年4月7日 アースガーデン 植月千砂

アースガーデンおひさま発電所発電データ (5kW 規模)								
累積発電量 30,397kWh(2015/3)								
	2014年 8月	9月	10月	11月	12月	2015年 1月	2月	3月
発電量(kWh)	390	584	458	327	233	128	304	492